

憲法しんぶん速報版

第 100 号

2004 年 11 月 27 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

内外に矛盾広げる自民党改憲案

憲法の価値前面に学習・宣伝を

自民党「憲法改正草案大綱」の復古的で露骨な軍事大国化の姿勢たいし、国内はもとよりアジア諸国からも批判が高まっています。「大綱」の内容は今回の改憲論議の本音であるだけに、今後、そうした矛盾はさらに広がらざるを得ません。日本国憲法の先駆的・先進的価値についての学習・宣伝がますます重要になっています。

「草案」に自民内からも反発

自民党憲法調査会の憲法改正起草委員会(中谷元・座長)は、17日に発表された憲法改正草案大綱「事務局案」にそって12月中に「草案」をまとめるため、急ピッチに作業をすすめています。24日の会合では事務局案のうち、第4章「平和主義および国際協調」、第8章「国家緊急事態」について論議し、大筋で了承しました。

しかし、17日に発表された事務局案は、一部から党憲法調査会の保岡興治会長の「私案」だとする指摘もあり、各方面に波紋をなげかけています。とくに、「たたき台」では著しく権能を低下させられる参議院自民党からは激しい反発をよび、党憲法調査会から参院メンバーを引き上げるという声すら

2005年5・3憲法集会 第1回実行委員会のご案内

「2005年5・3憲法集会」を成功させるため、下記のように第1回の実行委員会を開催します。

- ◇日時 12月16日 18時30分
- ◇会場 日本キリスト教会館
- ◇議題 ①今日の憲法状況と各自の運動報告等②05年5・3集会の持ち方について③他

【事務局団体】 憲法改悪阻止各界連絡会議／「憲法」を愛する女性ネット／憲法を生かす会／市民憲法調査会／女性の憲法年連絡会／平和憲法21世紀の会／平和を実現するキリスト者ネット／許すな！憲法改悪・市民連絡会

おこり、26日の起草委員会を参院メンバーは欠席しました。結局、片山参院自民党幹事長が保岡党憲法調査会長に

抗議し、参院側が独自の「改正」案を作成することとなりました。

海外マスコミが強く批判

【韓国】 「自衛隊のこうした役割の変更と拡大は、東アジア地域の情勢が険悪になった場合、むしろ地域情勢の悪化を招く可能性が高い」「日本はこれまで、…東アジア地域民に対し、本当の謝罪や和解をしてこなかった。むしろ過去を歪曲、ねつ造するように行動してきた。こうした点で、われわれは日本の改憲を不安な目で見守るしかない」(18日「中央日報」社説)

【中国】 「(改憲案は自衛隊の役割を)『専守防衛』から『攻守兼備』および『先制攻撃』ができるよう変える」ものであり、「かならずアジアや世界の平和に重大な脅威となるだろう」「他国を侵略した歴史を認めない国家は今後、歴史の轍を踏む可能性が大いにある」(22日「マカオ日報」社説)

「もし同草案に基づいて改憲がなされたら、現行憲法の九条のなかで残るのは『戦争発動の権利の放棄』一項のみで、日本に名実伴う軍隊である『自衛軍』を出現させることになる」(20日「新華ネット」)

【シンガポール】 「(自民党改憲案は)平和憲法第九条を改定して『自衛軍』を創設し、しゃにむに海外派兵への門戸を大きく開こうとしている」「(改憲案は天皇元首化や日の丸・君が代強制など)かつてアジアを侵略した日本の『皇軍』の色彩に満ちている」「戦後 60 年の来年、日本の憲法改定案は、アジア諸国から重大な懸念を

韓国議員が自民改憲案に声明

韓国国会(定数 299)の議員 70 氏は 17 日、「日本は 21 世紀に帝国主義の復活を夢見るのか」と題する声明を発表し、自民党の改憲案を厳しく批判しています。声明には、与党・開かれたウリ党を中心に、野党ハンナラ党、新千年民主党の議員が名を連ねています。

声明では、「改憲は過去の侵略に対する痛切な反省なしに、再び日本を戦争国家化し軍事大国の陰謀を実現するための具体的な行動」としたうえで、改憲案が自衛隊を「自衛軍」に変え、武力行使を可能にしていることで「朝鮮半島での戦争の危険がいっそうたかまる」、「日本の改憲はわが民族の生存を脅かす最大級の事案」と強調、「日本が改憲に慎重を尽くすようあらゆる可能な手段を動員して対応する」と述べています。

引き起こす新たな問題となるだろう」(18日「聯合早報」)

年々減少する改憲賛成の世論

「日経新聞」は定期的に憲法についてのアンケート調査を実施。「あなたは日本国憲法についてどうお考えですか」との設問で、「現在のままでいい」、「改正すべきだ」、「いえない・わからない」の選択肢で回答を求めています。2000 年以降、「改正すべき」が一貫して減少を続けているのが特徴です。

	現在のまま	改正	いえない
00 年 4 月	31%	61%	8%
01 年 4 月	33%	58%	9%
04 年 4 月	28%	55%	17%
04 年 9 月	33%	49%	17%